



平成30年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月2日

上場会社名 立川ブラインド工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7989 URL http://www.blind.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)立川 光威
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)栗原 斉 (TEL)03(5484)6142
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月2日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	28,624	△3.1	2,429	△15.8	2,454	△15.8	1,531	△15.7
29年12月期第3四半期	29,549	1.2	2,884	27.4	2,914	29.7	1,815	30.6

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 1,487百万円(△28.4%) 29年12月期第3四半期 2,076百万円(101.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	78.68	—
29年12月期第3四半期	93.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	51,623	39,128	67.5
29年12月期	51,448	38,001	65.5

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 34,850百万円 29年12月期 33,695百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	5.00	—	10.00	15.00
30年12月期	—	5.00	—	—	—
30年12月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 29年12月期 期末配当金の内訳 普通配当5円00銭 特別配当5円00銭

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,400	3.2	3,750	2.9	3,820	2.9	2,330	2.1	119.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年12月期3Q	20,763,600株	29年12月期	20,763,600株
30年12月期3Q	1,305,152株	29年12月期	1,304,670株
30年12月期3Q	19,458,667株	29年12月期3Q	19,459,746株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益および雇用環境の改善等を背景に緩やかな回復基調が続いているものの、依然として個人消費は力強さを欠くなど先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループ関連の建設・住宅業界においては、各種政策効果による下支えが続いたものの、新設住宅着工戸数は前年に比べ減少しており、厳しい環境が続いております。

このような環境の下、室内外装品関連事業においては、顧客満足度の高い製品の開発および新製品の市場浸透を促進するとともに、コスト低減活動や生産性の向上を継続し、収益改善に取り組んでまいりました。

また、駐車場装置関連事業においては、主力製品である『パズルタワー』に重点を置いた営業を図り、コスト競争力の強化を推進し、収益改善に努め、減速機関連事業においては、保有技術を活かした製品開発に取り組み、特殊製品による成長分野への積極的な提案営業を行い、受注獲得に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は28,624百万円（前年同期比3.1%減）、営業利益は2,429百万円（前年同期比15.8%減）、経常利益は2,454百万円（前年同期比15.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,531百万円（前年同期比15.7%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[室内外装品関連事業]

ヨコ型ブラインド『パーフェクトシルキー』で好評であったワンタッチ操作で製品がゆっくりと下降する機能を、ヨコ型ブラインド『シルキーシェイディ』『シルキー』、プリーツスクリーン『フィーユ』に展開したほか、ハニカム（蜂の巣）構造で断熱性が高く、意匠性に優れたハニカムスクリーン『ブレア』を発売しました。

さらに、プリーツスクリーン『ゼファー』『フィーユ』『ペルレ』の生地ラインナップや空間を便利に有効活用できる間仕切『プレイス』のラインナップをリニューアルし、顧客満足度の向上を図るとともに、5月より全国において新製品発表会を開催し、新製品の市場浸透や市場の拡大に取り組んでまいりました。

しかしながら、国内住宅市場の低迷等により、売上高は24,472百万円（前年同期比2.3%減）となり、営業利益につきましては、コスト低減活動等による収益改善に努めたものの、販促活動による費用の増加や物流コストの上昇により、2,269百万円（前年同期比13.9%減）となりました。

[駐車場装置関連事業]

改造・改修工事案件において受注が伸長するも、主力製品である『パズルタワー』の新規着工が減少したことにより、売上高は1,515百万円（前年同期比26.9%減）となりました。営業利益につきましては、資材価格等の上昇傾向が続くなか、選別受注と原価低減活動に取り組んだものの、売上の減少を補えず、13百万円（前年同期比91.1%減）となりました。

[減速機関連事業]

設備投資動向が好調に推移するなか、特殊減速機や産業機器向け汎用減速機等の受注が前年を上回り、売上高は2,636百万円（前年同期比8.9%増）となりました。営業利益につきましては、継続的な原価低減活動に努めたことで、145百万円（前年同期比48.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は51,623百万円で、前連結会計年度末と比較し175百万円の増加となりました。

(資産)

流動資産は34,374百万円で、前連結会計年度末と比較し291百万円の増加となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が減少した一方で、現金及び預金や棚卸資産が増加したことによるものであります。

固定資産は17,249百万円で、前連結会計年度末と比較し115百万円の減少となりました。これは主に、無形固定資産の取得があった一方で、有形固定資産が減価償却により減少したことや、保有株式の時価の下落等により投資有価証券が減少したことによるものであります。

(負債)

負債は12,495百万円で、前連結会計年度末と比較し951百万円の減少となりました。これは主に、未払金および未払法人税等が減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は39,128百万円で、前連結会計年度末と比較し1,127百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は67.5%と、前連結会計年度末と比較し、2.0ポイントの増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、経済政策や金融政策の効果等を背景に、緩やかな回復が続くことが期待されますが、当社グループ関連の建設・住宅業界におきましては、個人消費の低迷や住宅着工の見通しなど、先行き不透明感が続くものと予想されます。

このような環境の下、室内外装品関連事業におきましては、お客様の視点に立った新製品開発や営業活動、リフォーム需要の獲得強化、非住宅市場での拡販および収益力の強化に取り組むことで既存事業領域を深耕していくとともに、ホテル需要や海外市場等、成長分野への取組みを強化することで、さらなる売上拡大・収益確保に努めてまいります。駐車場装置関連事業におきましては、主力製品「パズルタワー」の物件獲得に注力し、付随する改造・改修、メンテナンス需要を獲得してまいります。減速機関連事業におきましては、当社が強みとする特殊減速機を中心に積極的な提案営業を展開してまいります。

これらを踏まえ、平成30年12月期の通期の連結業績予想につきましては、現時点において平成30年2月7日に公表しました予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,503,040	13,938,188
受取手形及び売掛金	15,232,719	13,372,941
商品及び製品	591,762	483,828
仕掛品	1,344,727	1,440,633
未成工事支出金	98,030	140,225
原材料及び貯蔵品	3,131,846	3,754,772
その他	1,199,687	1,261,516
貸倒引当金	△18,061	△17,218
流動資産合計	34,083,752	34,374,886
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,233,994	13,249,781
減価償却累計額	△8,972,294	△9,171,095
建物及び構築物(純額)	4,261,699	4,078,686
土地	7,396,065	7,396,065
その他	15,009,852	15,067,062
減価償却累計額	△13,809,852	△13,779,616
その他(純額)	1,199,999	1,287,445
有形固定資産合計	12,857,765	12,762,197
無形固定資産	252,987	336,433
投資その他の資産		
投資有価証券	2,309,164	2,089,882
退職給付に係る資産	360,579	375,054
その他	1,786,265	1,880,988
貸倒引当金	△202,447	△195,554
投資その他の資産合計	4,253,562	4,150,371
固定資産合計	17,364,315	17,249,002
資産合計	51,448,068	51,623,889

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,453,246	6,420,257
未払法人税等	909,432	423,879
賞与引当金	218,947	654,681
役員賞与引当金	76,780	52,455
製品保証引当金	12,660	13,555
その他	2,365,650	1,416,445
流動負債合計	10,036,717	8,981,273
固定負債		
役員退職慰労引当金	357,830	364,717
退職給付に係る負債	2,979,655	3,003,066
その他	72,638	146,367
固定負債合計	3,410,124	3,514,151
負債合計	13,446,842	12,495,425
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,475,000	4,475,000
資本剰余金	4,395,016	4,395,016
利益剰余金	25,099,889	26,339,025
自己株式	△669,529	△670,223
株主資本合計	33,300,376	34,538,818
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	657,825	517,864
繰延ヘッジ損益	2,511	2,659
為替換算調整勘定	48,814	38,434
退職給付に係る調整累計額	△313,659	△247,114
その他の包括利益累計額合計	395,492	311,845
非支配株主持分	4,305,357	4,277,800
純資産合計	38,001,226	39,128,463
負債純資産合計	51,448,068	51,623,889

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	29,549,512	28,624,675
売上原価	16,631,264	16,083,372
売上総利益	12,918,248	12,541,303
販売費及び一般管理費	10,033,929	10,112,039
営業利益	2,884,318	2,429,263
営業外収益		
受取利息	860	806
受取配当金	30,376	33,740
不動産賃貸料	26,963	26,863
その他	49,994	47,486
営業外収益合計	108,194	108,896
営業外費用		
支払利息	13	14
売上割引	61,820	61,685
為替差損	6,283	8,170
その他	9,607	14,222
営業外費用合計	77,725	84,093
経常利益	2,914,788	2,454,066
特別利益		
固定資産売却益	359	846
特別利益合計	359	846
特別損失		
固定資産除売却損	911	3,486
特別損失合計	911	3,486
税金等調整前四半期純利益	2,914,236	2,451,426
法人税、住民税及び事業税	1,039,441	912,290
法人税等調整額	△14,088	△42,287
法人税等合計	1,025,352	870,002
四半期純利益	1,888,884	1,581,423
非支配株主に帰属する四半期純利益	73,152	50,406
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,815,731	1,531,017

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	1,888,884	1,581,423
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	90,895	△152,860
繰延ヘッジ損益	△940	148
為替換算調整勘定	3,922	△10,379
退職給付に係る調整額	93,634	69,212
その他の包括利益合計	187,511	△93,878
四半期包括利益	2,076,395	1,487,545
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,008,049	1,447,370
非支配株主に係る四半期包括利益	68,346	40,174

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	25,055,711	2,073,078	2,420,722	29,549,512	—	29,549,512
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	77,660	77,660	△77,660	—
計	25,055,711	2,073,078	2,498,382	29,627,172	△77,660	29,549,512
セグメント利益	2,635,534	150,759	98,024	2,884,318	—	2,884,318

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	24,472,614	1,515,496	2,636,563	28,624,675	—	28,624,675
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	83,916	83,916	△83,916	—
計	24,472,614	1,515,496	2,720,480	28,708,592	△83,916	28,624,675
セグメント利益	2,269,981	13,421	145,860	2,429,263	—	2,429,263

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。